延岡市

自分の命、大切な人の命を守るために備えよう

洪水・土砂災害ハザードマップ

保存版

令和５年３月発行

近年、全国各地で大雨による河川の氾濫や土砂災害が頻発しています。
完全に災害を防ぐことは難しいですが、日ごろの備えを進めることにより、被害を減らすことは可能です。
大雨が降って災害が起きそうなとき、どのようにして自分や家族の命を守るのか、このハザードマップを活用して考えていただく機会となれば幸いです。

目次

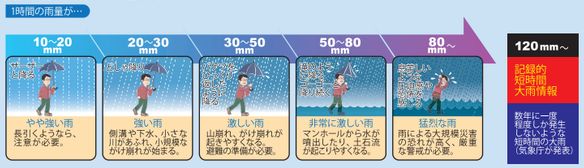
大雨の時に自分や家族の命を守るため…
❶大雨の時に起きる災害について知っておきましょう。
❷いざという時、どう行動するのか考えておきましょう。
❸災害時に得られる情報について確認しましょう。
❹今できること、日ごろの備えについて、今一度確認しましょう。
…最後に、わが家の避難行動計画を書き込んで、家族で情報共有しておきましょう。

❶ 災害について知る

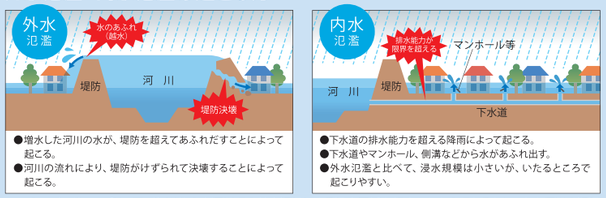
雨の降り方と想定される状況

洪水や土砂災害は地震とは違って、気象情報からある程度予測できます。雨の様子や今後の気象情報などを確認し、災害に備えて早めの準備をしましょう。

1時間の雨量が…

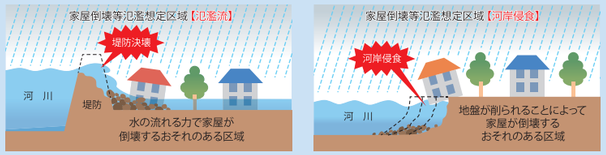


外水氾濫・内水氾濫の起こり方



このハザードマップは、五ヶ瀬川他の大河川での外水氾濫による浸水区域を想定したものであるため、中小河川の氾濫や下水道からの内水氾濫が発生した場合は、このハザードマップに示された範囲と異なる場所でも浸水する可能性があります。

家屋倒壊等氾濫想定区域とは…



メモ　延岡市は流域治水プロジェクトに取り組んでいます。国土交通省延岡河川国道事務所と宮崎県と協働でハード・ソフト一体の事前防災対策を加速中です。

◆豆知識
＜既往の気象の最大値＞
・日最大１時間降水量：84.5mm（令和３年８月８日台風９号）
・最大日降水量：445.5mm（平成 28 年９月 19 日台風 16 号）
出典：延岡市地域防災計画

命を守るポイント（洪水）

原則　浸水前の早い段階に安全な場所へ
逃げ遅れたら　浸水した後には安全でより高い場所へ

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域とは…

土砂災害防止法に基づき「土砂災害が発生した時に住民などの生命または身体に危害が生じるおそれのある地域」を指定したものです。

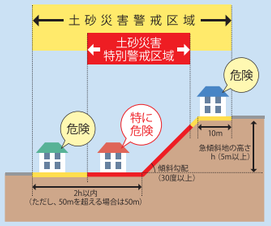
土砂災害警戒区域（通称：イエローゾーン）

土砂災害が発生したときに被害等を受けるおそれのある地域です。土砂災害の危険性の周知や避難体制の整備が図られます。

土砂災害特別警戒区域（通称：レッドゾーン）

土砂災害警戒区域内で被害等を受けるおそれが特に高い地域です。区域内での開発行為の制限や新築・増改築の際の構造規制等が行われます。

【がけ崩れの場合】

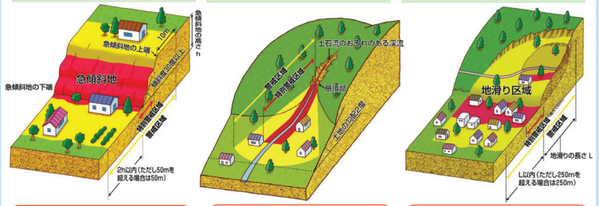


土砂災害の種類

急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）
斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等で緩み、突然崩れ落ちる現象

土石流
山腹や川底の石・土砂が長雨や集中豪雨等によって、一気に下流へと押し流される現象

地すべり
斜面の一部、あるいは全部が地下水の影響と重力によって斜面下方に移動する現象



前兆現象
◆がけに割れ目が見える。
◆がけから水が噴出する。
◆がけから小石がパラパラ落ちてくる。

前兆現象
◆山鳴りがする。
◆川の流れが濁り、流木が混ざり始める。
◆雨が降り続いているのに川の水位が下がる。

前兆現象
◆地面にひび割れができる。
◆沢や井戸の水が濁る。
◆斜面から水が噴き出す。

※雨が止んだ後も注意！これまで降った雨が土の中に残っています

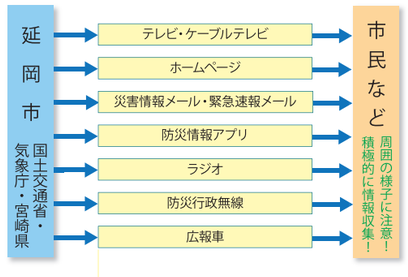
延岡市の主な被害

	死者数（人）	全壊（棟）	半壊（棟）	一部損壊（棟）	床下浸水（棟）	床上浸水（棟）
平成５年台風７号	3	3	2	0	410	382
平成９年台風19号	1	2	1	0	1,140	1,540
平成13年集中豪雨	0	0	0	0	199	48
平成16年台風23号	0	2	2	0	318	267
平成17年台風14号	0	120	762	0	827	619
平成19年台風４,５号	0	4	5	77	160	44
平成28年台風16号	0	0	0	0	78	22
平成29年台風18号	0	0	0	0	30	27
令和４年台風７７号	1	1	7	271	332	199

命を守るポイント（土砂災害）

原則　雨や前兆現象に注意し、早めの避難
逃げ遅れたら　２階以上の頑丈な建物や斜面から離れた場所へ

❸ 災害の情報を得る



雨の状況や河川水位等、平常時から入手方法を確認しておきましょう

テレビ・ケーブルテレビ
テレビのデータ放送からも気象情報や避難情報を確認することができます。

その他
・ラジオ
AM　NHK第一　621kHz
FM　FMのべおか　88.6MHz
延岡市防災ラジオ
・防災行政無線
・広報車

ホームページ
・気象庁
https://www.jma.go.jp/jma/index.html
・国土交通省川の防災情報
http://www.river.go.jp/kawabou/ipTopGaikyo.do
・宮崎県の雨量
・河川水位観測情報
http://kasen.pref.miyazaki.jp
・気象庁
土砂キキクル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）
https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land/

メールで受信（事前登録が必要）
・災害情報メール
https://plus.sugumail.com/usr/nobeoka/home
・宮崎県防災・防犯情報メールサービス
bousai.miyazaki-pref@raiden2.ktaiwork.jp
・緊急速報メール
詳しくは携帯電話各社案内を確認ください

防災情報アプリ
「防災のべおか」主な機能
お知らせ機能
市が配信する避難情報や防災に関する情報等をプッシュ通知で受け取ることができ、文字と音声で確認することができます。
他にも、、、
ハザードマップの確認
避難場所の確認
防災リンク集

iPhone 用　Android 用

いざという時に・・・
・公共無線 LAN(Wi-Fi)（延岡市）
利用可能施設：西階陸上競技場
西郷隆盛宿陣跡資料館
SSID　：NOBEOKA_CITY_WI-FI
暗号キー：canna1933
・AED 設置場所位置図（延岡市）
・公衆電話の設置場所位置図（NTT 西日本）

災害が起きてしまったら・・・
災害用伝言ダイヤル
電話「171」/ WEB「WEB171.jp」
災害用伝言板（各携帯電話会社）

伝言の登録方法
電話
①171 にダイヤル
②「1」をダイヤル
③（市外局番）＋電話番号
④伝言を録音
WEB
①web171.jp にアクセス
②電話番号を入力
③登録ボタン
④名前 / 安否 / 伝言を登録

伝言の確認方法
電話
①171 にダイヤル
②「2」をダイヤル
③（市外局番）＋電話番号
④伝言を再生
WEB
①web171.jp にアクセス
②電話番号を入力
③登録ボタン
④伝言内容の確認

わが家の避難行動計画

いざという時のために、災害時の避難ルールづくりをしておきましょう。
地域・家族で話し合ったルールを書き込み、みなさんで共有しておきましょう！

●わが家のリスク　・わが家の浸水想定は、　　m以上　　m未満です。（地図面参照）
・わが家は土砂災害警戒区域に入って　います ・ いません　。

避難行動判定フロー

まずは自宅・学校・職場の状況からいざという時の行動を確認しておきましょう。

自宅・職場・学校が…浸水想定区域内（浸水の着色）にある／過去に浸水したことがある → いいえ → 屋内での安全確保 むやみな外出は控える
※色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や窪のそばなどにお住まいの方は、避難情報を参考に必要に応じて避難してください
↓ はい
早期立退き区域等
以下のいずれかに当てはまる
早期立ち退きが必要な区域内にある（家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流・河岸浸食）等）
想定浸水深が最上階の床高を上回る
土砂災害警戒区域内にある
→ いいえ → 屋内での安全確保（垂直避難）自宅の上階等に避難して安全を確保しましょう
→ はい → 立ち退き避難 その場にとどまると危険です。避難場所や近所の安全な場所に避難しましょう。

●避難先　※指定緊急避難場所に限りません　親戚、友人宅、勤務先等も候補に（地図面参照）
❶
❷
❸

●わが家の非常持出袋は…（④日ごろから～参照）
に置いてあります。

●わが家の備蓄品は…（④日ごろから～参照）
に置いてあります。

●家族の情報

名　前	電話番号	生年月日	血液型	その他（アレルギー・持病・常備薬・主治医等）
	携帯電話			
	勤務先等			
	携帯電話			
	勤務先等			
	携帯電話			
	勤務先等			
	携帯電話			
	勤務先等			
	携帯電話			
	勤務先等			

延岡市では、他にも『わが家の防災ハンドブック』を作成しております。土砂災害・洪水の他に、地震、津波、高潮、竜巻についても災害への備えや災害に関する基本的な内容をわかりやすくまとめ、主体的に身を守る行動に役立つ資料となっています。あわせてご確認ください。

❷ いざという時どうするか考えておく

洪水・土砂災害（風水害）のタイムライン

避難情報がでたら速やかに避難しましょう！

日ごろから	警戒レベル１	警戒レベル２	警戒レベル３	警戒レベル４	警戒レベル５
情報収集につとめましょう！	気象情報に注意しよう	避難に備えよう	避難情報 高齢者等避難（市が発令）	避難情報 避難指示（市が発令）	避難情報 緊急安全確保（市が可能な範囲で発令）
・外出前に天気予報を確認 ・最新の気象情報を入手 ・雲の流れや雨の降り方など、気象状況に応じて行動する ・地域で実施している避難訓練に参加し、避難経路やいざという時の行動を事前に確認しましょう	・災害への心構えを高めましょう！	・避難場所、経路の再確認 ・非常持出袋を用意（食べ慣れたものもあると安心です）	迷惑がかかるからという理由でためらわないで！近所の声かけや地域での助け合いを。 高齢者等支援の必要な方は避難を開始！その他の方々は避難の準備をし、自発的に避難する。	左の避難行動判定フローによる避難行動をとる。災害が発生するおそれが極めて高い状況であり、緊急に避難する。	命を守るための最善の行動をとる。（垂直避難）
防災気象情報（気象庁・国土交通省・宮崎県が発表）	早期注意情報	レベル２　大雨注意報 レベル２　氾濫注意報 レベル２　土砂災害注意報	レベル３　大雨警報 レベル３　氾濫警報 レベル３　土砂災害警報	レベル４　大雨危険警報 レベル４　氾濫危険警報 レベル４　土砂災害危険警報	レベル５　大雨特別警報 レベル５　氾濫特別警報 レベル５　土砂災害特別警報
「いつ」「だれが」「何をするのか」マイ・タイムラインを作ってみましょう！あらかじめ時系列で整理した自分自身の避難行動計画（マイ・タイムライン）を作ってみましょう！	例）気象情報の収集をする。避難先、持出品の再確認をする。家族と連絡をとる。		例）避難の準備を始める。祖父・祖母をつれて○○へ避難する。	例）速やかに○○に避難する。自宅の○階に垂直避難する。	例）情報収集を継続して行う。
	雨が強くなる前の時期		避難行動を開始する時期		身の安全を確保すべき時期

避難時（洪水・土砂災害）の注意点

積極的に情報を入手 危険と判断したら早めの避難

避難するタイミングを決めておきましょう！

車は地下駐車場やアンダーパスに注意！

事前の処置をして、畑や田んぼの見回りは控えて

浸水した道路は通らない（マンホールや側溝で危険）

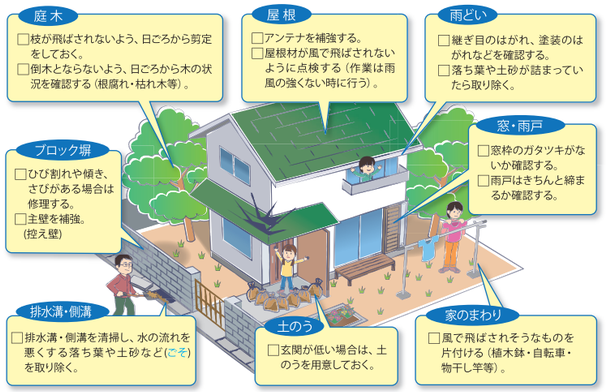
がけや川の近くにいかない！

逃げ遅れたら『命をまもる行動をとる！』

自宅の最上階や身近で頑丈な建物へ避難

❹ 日ごろから備える

被害を軽減するために、日ごろから家屋などの周りを点検し、万全の対策を立てておきましょう。



非常持出袋

非常持出袋には両手の空くリュックサックが便利です。重すぎないか、一度背負ってみましょう。

荷物の重さの目安　男性 15kg　女性 10kg

非常持出袋（リュックサックなど）に入れておくもの			
□ 飲料水（500mℓ 2～3 本程度）	□ ホイッスル（笛）	□ 雨具・防寒具	□ 携帯用トイレ
□ 厚手の手袋（軍手）	□ タオル・ハンカチ	□ ティッシュペーパー・ウェットティッシュ	
□ 非常食（長期保存・調理不要）	□ 衣類（上着・下着・靴下）	□ 万能ナイフ・缶切り	□ 懐中電灯・ランタン
□ 携帯用カイロ	□ 簡易食器（割り箸、紙皿）	□ ラジオ	
□ 貴重品（現金・通帳・保険証等）	□ ビニール袋・ラップ	□ 生理用品・トイレットペーパー	
□ 洗面用具・衛生用品・マスク	□ 底の丈夫な靴		
□ 医療品等（消毒薬等）	□ ヘルメット・防災ずきん	□ 乾電池・モバイルバッテリー	

乳幼児	妊婦	高齢者	疾患のある方	ペット	その他
□ 離乳食	□ 母子健康手帳	□ 入れ歯	□ 主治医連絡先	□ リード	□ メガネ
□ 粉・液体ミルク	□ 脱脂綿	□ 介護食	□ 持病薬	□ トイレ用品	□ コンタクトレンズ
□ おむつ	□ ガーゼ	□ 大人用おむつ	□ お薬手帳	□ ペットフード	□ 補聴器
□ おしりふき	□ 新生児用品				

備蓄品

災害時に自宅で生活するために必要なものは、日ごろから備蓄を心がけましょう。

備蓄品		
□ 日ごろの買い置き	□ トイレ用品	□ 食品用ラップフィルム
□ 7日分以上（推奨）の食料	□ 燃料（カセットコンロ等）	□ ポリタンク
□ 7日分以上の飲料水	□ 毛布・寝袋	

備蓄品はローリングストック